畜産あきた

第32号
2016
4月

平成27年度　臨時総会開催

平成28年3月30日（水）午前11時より秋田県畜産会館1階会議室にて、当組合「平成27年度臨時総会」が開催されました。

当日は、組合員129名（本人出席21名、代理人出席7名、書面議決書101名）が出席し、議長には南部地区の今野幸蔵さんが選任され、議案第1号　平成28年度事業計画の設定について、議案第2号　平成28年度理事及び監事の報酬決定について、議案第3号　平成28年度賦課金の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法について、議案第4号　定款の一部変更について、議案第5号　学識経験理事の選任について、及び附帯決議の全6議案を、全て原案どおり可決承認し、新しい年度のスタートを切りました。

28年度については、TPP大筋合意による自由貿易圧力の進展など、予断を許さない農業経営環境となり、畜産経営者にとって厳しい年になることが予想されますが、組合員の皆様と一丸となり各事業に取り組みたいと思いますので、よろしくお願い致します。

●平成28年4月30日発行　第32号　【発行】秋田県畜産農業協同組合　【編集】総務部

平成27年度　臨時総会議決事項

議案第1号　平成28年度事業計画の設定について
議案第2号　平成28年度理事及び監事の報酬決定について
議案第3号　平成28年度賦課金の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法について
議案第4号　定款の一部変更について
議案第5号　学識経験理事の選任について
附帯決議
以上、全議案、原案どおり可決承認されました。

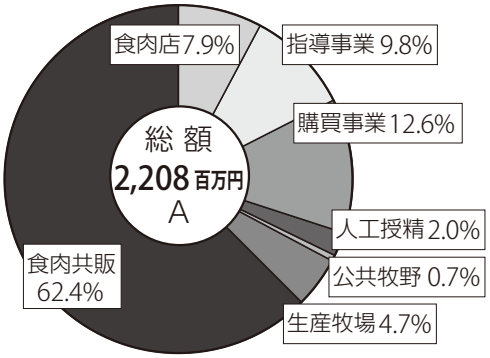
平成28年度事業計画の概要

【 重点取組事項 】

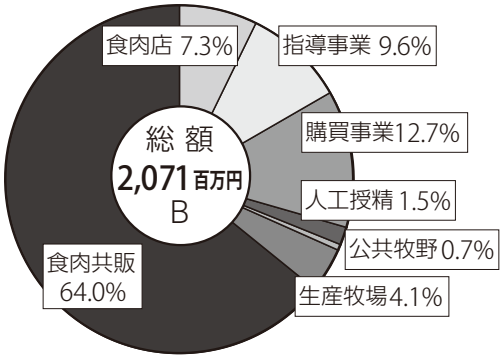
1）　生産部会等組織活動の活性化推進による生産指導力の強化
2）　未来の農業経営基盤確立のための担い手ネットワークの設立
3）　肉用牛改良増殖目標の設定と普及啓蒙
4）　生産・改良指導の強化による市場性の向上対策の強化
5）　「秋田錦牛」・「かづの牛」の銘柄力の拡大推進
6）　遊休資産の活用促進及び外部出資の適正化による経営基盤強化
7）　組合業務の効率化による経営コストの削減
8）　事業量拡大と収益性向上による組合経営の安定化

【事業収支計画の概要】

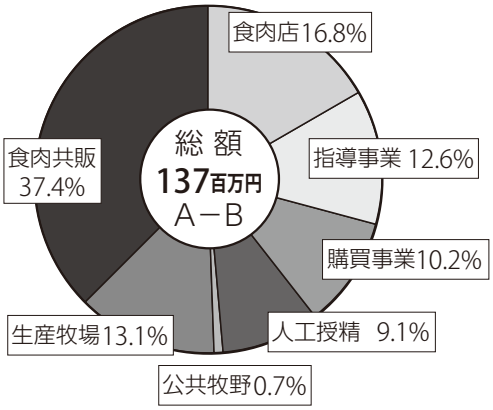
〈 事 業 収 益 〉



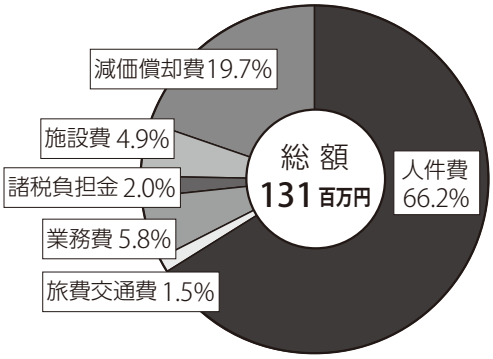
〈 事 業 費 用 〉



〈 総事業利益の内訳 〉



〈 事業管理費の内訳 〉



食肉事業所より

第30回秋田県畜産農協枝肉研究会開催

最優秀賞は由利本荘市　佐藤栄治さん

2月15日から2月18日にかけて、秋田県食肉流通公社において「第30回秋田県畜産農協枝肉研究会」が開催されました。今回の出品牛は全頭黒毛和種で、去勢31頭、雌11頭の合計42頭が出品されました。審査委員の厳正な審査の結果、見事最優秀賞に輝いたのは由利本荘市　佐藤栄治さんの出品牛　義郷73号でした。血統は父が美津照重、二代祖が勝忠平でその父が安福165の9。枝肉重量486.5kg、ロース芯面積77、バラの厚さは7.9cm、格付等級「A-5」、BMS「12」でした。肥育が良く進み、肉質全般に優れておりました。枝肉単価は2,900円、枝肉販売金額は141万850円でした。

また、研究会全体の成績は平均枝肉単価が2,526円、平均売上金額が132万8,854円と、高値での取引となりました。

最優秀賞を受賞した佐藤栄治さんにお話を伺いました。

●受賞牛の導入時の印象及び育成過程はどうでしたか？

導入時は301kg。順調に育ちましたが、食べる割にはあまり大きくなることもなかったです。血統が美津照重なので枝肉重量はこのくらいでも仕方ないのかなと思っています。BMS12は肉質系の血統が効きました。

●今回615kgの牛も出荷していますが、増体やBMS12を出すコツはあるのでしょうか？

コツよりは、やはり血統とその牛の能力が大きいと思います。

●45回共励会に続いての最優秀賞の受賞ですが、どのようなお気持ちですか？

自分でもびっくりしています。

最優秀賞を受賞した佐藤栄治さんからのお話でした。おめでとうございます。

〈全体の成績〉

性別	頭数	平均枝重(kg)	平均販売単価(円)
去勢	31	544	2,546
雌	11	475	2,462
小計	42	526	2,526

〈最優秀賞受賞枝肉〉

〈受賞牛成績〉

賞	受賞者	格　付	性別	枝重(kg)	単価(円)	売上(円)	父	母の父	祖母の父
最優秀賞	佐藤栄治	A5 BMS12	去勢	486.5	2,900	1,410,850	美津照重	勝忠平	安福165の9
優秀賞	鈴木邦喜	A5 BMS11	去勢	580.5	2,800	1,625,400	義平福	勝忠平	北国7の8
優秀賞	伊藤正輝	A5 BMS11	去勢	508.5	2,800	1,423,800	安福久	百合茂	平茂勝
優秀賞	橋本一志	A5 BMS11	去勢	593.0	2,800	1,660,400	安福久	勝忠平	北国7の8

山本郡藤里町

組合員紹介

佐々木（ささき）　忠義（ただよし）さん（53歳）

●従事者
本人、父（孝男さん）、母（加代さん）

●飼養品種、頭数
黒毛和種（肥育68頭）

佐々木さんは、平成16年10月まで東京でサラリーマン生活をしていましたが、父親が病気になった為、農業と畜産を継いで家族を助けるために秋田に戻って来ました。

牛の肥育は、父親が若いときから褐毛和種の肥育に取組み、昭和50年頃から先見の明をもって黒毛和種に切り替え、現在は家族で飼養管理をしています。肥育素牛は、すべてあきた総合家畜市場から導入し、県有種雄牛を中心に入れています。また、地元から出た素牛は、極力買うように心がけているようです。

● 飼養管理ポイント

導入後3ヶ月から4ヶ月は、粗飼料（良質なチモシー）を飽食させ、ストレスを早く取り除いてやるためにも換気や寝床をきれいに保つようにこころがけています。また、牛の背中や頭などをブラッシングしたり、なでたりして、コミュニケーションをはかり人に馴れるように努めています。

● 今後の目標

「自分の牛を見る目と知識を信じて、素牛の選択をして上物率の向上と牛枝肉重量増を目標に安定した経営が出来るようにして行きたい」とのことでした。

● 最後に

お忙しい中、取材に応じて下さった佐々木さんに感謝申し上げるとともに、今後のますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

畜産トピックス

今回は、芳之国の素牛と肥育法について

芳之国について

芳之国は、平成26年7月3日の第10回全農枝肉共励会（全農主催）の去勢の部で、㈱川口ファームさんが名誉賞を獲得し脚光を浴びました。その後も多くの共励会で活躍しています。しかし、芳之国の成績はバラツキがあるようです。これは、素牛づくりや、肥育法がバラツいていることも要因のようです。

チャンピオン・インタビュー

【JA登米の川口さんのお話し】

平成26年7月、第10回全農枝肉共励会の名誉賞

（去勢、枝肉重量543kg、BMS№12、芳之国×安福久×平茂勝）

「①約270日齢、305kgの深みがあり程良く長く、雌のような素牛でした。②配合飼料のピークは17、18ケ月齢で10kgでした。③粗飼料は導入後1 ケ月間はチモシーを沢山与え、順次減らしました。肥育に入って粗飼料を1日3回に分けて与えました。④V.Aは素牛導入時に100万単位投与し、23か24ケ月齢と27か28ケ月齢に70万単位を投与しました。」

【栃木県の磯野さんのお話し】

平成26年7月、JAなすの枝肉共励会の最優秀賞

（去勢、枝肉重量697kg、BMS№11、芳之国×金幸×平茂晴）

「① 8 ケ月齢で、340kg（日齢D.Gは1.4）であった。②濃厚飼料のピークは17ケ月齢で11kgであったが、その後10kgに抑えた。③粗飼料は前期にチモシーとWCSを沢山与えた。その後はワラを1.5kg ～ 2 kg与えた。④V.Aは導入時に投与せず、その後も与えずに済んだ。」

【栃木県の菅野谷さんのお話し】

平成27年1月、第３回東日本くみあい飼料㈱JAとちぎ和牛枝肉研究会の最優秀賞

（去勢、枝肉重量551kg、BMS№12、芳之国×安福久×平茂勝）

「①素牛は270日齢、290kg（日齢D.G1.07）で胴長の牛だった。②濃厚飼料のピークは21ケ月齢で9.5kgだった。最後まで9.5kgを食べた。③粗飼料は最初チモシー 2 kgとWCS6kgを与えた。その後、稲ワラ2kgを与えた。5 ケ月目以降は稲ワラを単独で与えた。常時、稲ワラを良く食べた。④V.Aは素牛導入時に200万単位投与し、その後、1 年間我慢し、ビタミンA入混合飼料を与え（約8 万単位を合計10回）、26ケ月齢頃に62.5万単位投与した。」

以上3氏を含め5人の方がチャンピオンになっています。5人の皆さんへのインタビューを要約すると以下のとおりです。

①素牛について

芳之国は、増体系らしく、素牛も高い日齢D.Gの素牛がさらに大きくなるようですが日齢D.Gで、1.1以上は欲しいものです。小さい素牛では、成績が出にくいようです。

②濃厚（配合）飼料給与について

芳之国は、増体系なので、濃厚飼料のピークは、生後17、18ケ月齢と早い例が多いと言えます。給与量も9～11kgと多く、10kgを越える場合が多く、いわゆる増体系の濃厚飼料の給与法が望ましいです。

③粗飼料の給与について

粗飼料は、素牛導入時に4～ 6kgを多給し、出荷まで、ワラ等を1.5kg以上、食べさせるような飼養管理が望ましいです。

④V.Aの補給について

素牛導入時は、無投与から200万単位とさまざまです。肥育途中は、飼料の食い止まり対策のためV.Aを投与している場合が多く、個体差が大きいようです。

⑤枝肉重量について

芳之国が良い成績を上げるためには、枝肉重量が550kg以上、できれば600kg以上を目指したいです。

⑥その他

事業団のデータでは、芳之国に合う「母の父」は表2のとおりです。

母の父	去　勢			雌		
	頭数	枝肉重量	BMSNo.	頭数	枝肉重量	BMSNo.
安福久	122	548.0	9.3	63	463.1	8.8
北乃大福	5	511.2	8.6	10	468.8	8.4
福安照	11	556.5	8.9	6	424.8	7.2
北平安	38	557.9	8.3	27	475.7	7.7
勝忠平	144	563.5	8.1	80	484.3	7.8
美津照	34	529.6	8.0	22	436.6	7.4
第2平茂勝	22	526.9	8.0	14	459.8	7.4
菊安舞鶴	21	520.8	8.0	4	460.8	6.8
百合茂	89	548.2	7.9	66	482.7	7.8
平茂晴	17	549.8	7.8	5	436.8	8.4
安茂勝	60	540.8	7.8	37	464.0	7.5
全体平均	1402	542.0	7.7	883	463.8	7.4

引用元は、LIAJNews157「寺さんの俵牛情報」より
注1 ）日齢、月齢は生後日齢、生後月齢を示す。
注2 ）濃厚飼料、粗飼料の給与量は1日1頭あたり。

支所だより

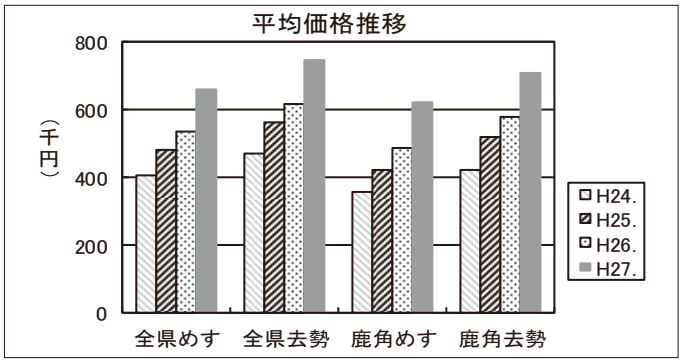
◇畜産講習会開催される

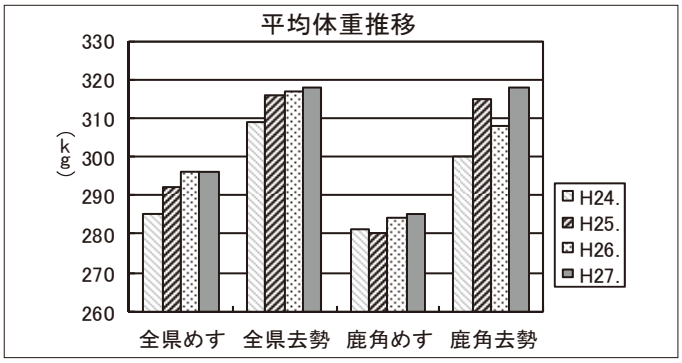
去る２月21日鹿角地域交流センターにて畜産講習会が開催されました。

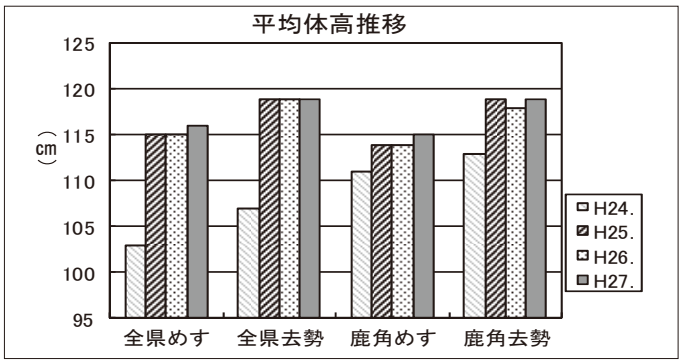
講師に秋田県畜産試験場総務企画室長(兼)飼料・家畜研究部長酒出淳一様より「今なぜ義平福なのか！市場データーから考える推奨交配」と題し講演をいただきました。

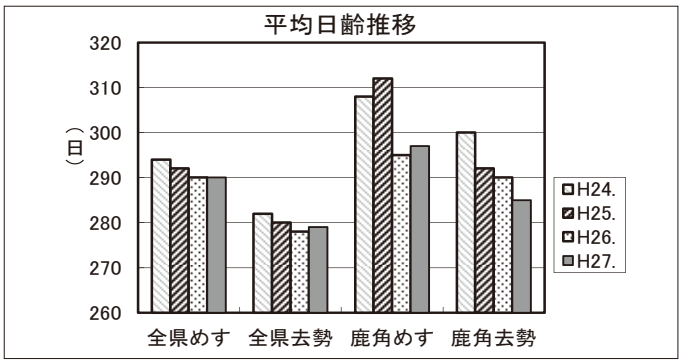
講演では、秋田県有種雄牛産子の子牛取引データーや枝肉成績を用いて、「義平福・松昭秀」の交配のアドバイスの提案がされました。また、来年９月に開催される宮城全共への取り組みを織り交ぜながら講演をいただきました。

◇鹿角地域におけるあきた総合家畜市場取引推移の比較について









Ｈ27年度は全国的な子牛相場の高騰により高値推移したが、各平均値ともに全県平均との差が依然と見られます。今後は、飼養管理の向上による上場牛の斉一化に努め、高品質な子牛生産を目指しましょう。

また、繁殖牛の空胎期間短縮（産子数増＝販売頭数増）は、収益の増加につながります。繁殖牛の徹底した管理を行い、収益性の高い畜産経営を行ないましょう。

あきた総合家畜市場

平成28年　4月期子牛セリ市結果【黒毛和種】

市場名	性別	今回（28年4月）		前回（28年3月）			前年同期（27年4月）		
		頭数	平均価格	頭数	平均価格	増減	頭数	平均価格	増減
あきた総合	メス	138	686,958	172	685,210	1,748	108	597,200	89,758
	去勢	213	805,584	209	813,323	△7,739	189	689,046	116,538
	計	351	758,945	381	755,487	3,458	297	655,647	103,298

（税込み）

【平成28年 4月期子牛】

去勢高価格順

	種雄牛	2代祖	3代祖	DG	取引価格
1	福華1	金幸	神高福	1.43	931,000
2	福華1	北平安	第2平茂勝	1.15	931,000
3	美国桜	平茂勝	茂　勝	1.24	928,000
4	百合茂	安福久	北国7の8	1.21	920,000
5	幸紀雄	安福久	第1花国	1.30	910,000

（税別）

雌高価格順

	種雄牛	2代祖	3代祖	DG	取引価格
1	安福久	百合茂	北国7の8	0.98	868,000
2	美国桜	安福久	勝忠平	1.06	845,000
3	百合茂	安平照	平茂勝	1.06	810,000
4	百合茂	安福久	金幸	1.07	808,000
5	義平福	勝忠平	北国7の8	1.18	805,000

（税別）

行事予定

4月
牛組合長会議
鹿角市公共牧野利用者会議
公認会計士監査

5月
第1回監事会
鹿角市公共牧野入牧
第31回秋田県畜産組合牛枝肉研究会

6月
第1回理事会
第10回大仙、仙北、美郷畜産共進会
第9回通常総会

※畜産あきたは、年４回（１・４・７・１０月）の発行を予定しております。